

拓く会第四回定期総会開かる

拓く会通信

第 17 号

平成20年12月10日

時代を拓く税理士の会

発行者 会長 金子秀夫

編集者 広報部長 中川常彦

事務局 Tel 03(3572)1441

Fax 03(3572)1445

東京都港区東新橋一丁目一高村税理士事務所内

時代を拓く税理士の会は税理士の資格取得の経緯や専業や兼業にとらわれず税理士業界に貢献する目的で設立された団体です。

第四回定期総会は九月二十七日東京税理士会館二階会議室で開催され、平成十九年度事業報告、平成十九年度決算承認、会則の一部改正、平成二十年度事業計画案、平成二十年度予算案承認など五議案が満場一致により承認された。



総会決議風景

午後三時三十分渡邊組織部長の司会で開催し、この一年間に亡くなられた会員へ黙祷した後、吉田副会長からの開会のことば、続いて金子会長から次の挨拶があった。

ふりかえると新執行部になって、会員拡大を重点項目として役員を挙げてその活動をおこなった。また、一〇〇人以上参加のあった研修会を年三回以上行なったことにより、来年四月から東京税理士会の認定研修団体になることができる。新たに日税連部会を設置し日税連理事との意見交換及び懇親会を行なった。その他厚生活動等により、会員拡大ができた。来年は東京税理士会役員改選の年にあたるため、二十年度はその準備にかかるとなると述べられた。続いて、議長に足達信一会員、副議長に山下隆会員を選出し審議に入った

第一号議案 平成十九年度事業報告承認の件

高村総務部長から次の趣旨説明があった。昨年度より新たな執行部体制になり、円滑な会議の運営、会報の発行、会員相互の交

流、研修会の充実などを通じて会員の拡大を図ってきた。また、平成二十一年に行なわれる東京会役員選挙の準備活動を行なった。

第二号議案 平成十九年度決算承認の件

佐藤財務部長は収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表・財産目録の説明を行なった。

【監査報告】

本田監事から、九月四日に行なった監査において、会務の執行、会計が適法にして正確に処理されている報告があった。

第三号議案 会則の一部改正承認の件

総務部長から本会が東京税理士会の研修認定団体となるため会則の改正を行なうことにする。

第四号議案 平成二十年度事業計画承認の件

総務部長から、次の趣旨説明があった。平成二十年度の基本方針は「税理士の使命を達成し、その業務環境を強化するため、健全な税理士会の運営及び的確な執行体制の確立を支援し、もって広く会員の総意を集約する税理士業界の実現を図る」とする
(次頁上段へ続く)

(前頁より続く)

第五号議案 平成二十年度収支予算承認の件

佐藤財務部長から次の趣旨説明があった。本年度は東京税理士会役員改選期にあたるため、事業活動の収支は選挙があるものとして予算を組んだ。
以上のすべての議案について満場一致承認可決された。

【懇親会】

総会終了後、同会場にて田中厚生部長の司会のもと懇親会が一二〇人を超える参加者のもとご来賓の挨拶の後、平山顧問の乾杯で始まり、午後六時盛會裏に終わった。

挨拶を賜った来賓の方々

東京税理士会 山川 巽会長

東京税理士政治連盟 溝江弘志会長

東京税務会計事務所健康保険組合 金子秀夫理事長

東京税理士厚生年金基金 狩野信雄理事長

東京税理士会データ通信協同組合 大野功夫理事長

税理士桜友会 上田勝廣会長

全国女性税理士連盟 内山良子会長

東京青年税理士連盟 松島康尚会長
(文責・高村義信総務部長)

会員増強運動中間報告

安達会員が最優秀賞を受賞

一二六名の新会員が拓く会に加入

昨年から始められた拓く会会員の増強運動の中間報告が、拓く会総会の席上で行われた。

この増強運動の中で新規に入会された方は二二六名で、都内全域に広がっているが、特に第七ブロックの会員増が顕著となっている。

新会員の推薦者を見ると、二五名を推薦した金子会長に次いで、二四名増が安達信一会員、一九名が林正巳会員、十名が榎本滋、山川巽の両会員、九名が矢部輝会員と続く。

安達会員以下五名が金子会長から表彰状と記念品を授与された。

会員増強は我々の永遠のテーマであることから、二年目に向けて、これからも全員で会員増強に取り組むことが肝要である。

金子会長と今回表彰された面々



(下) 最優秀賞受賞の安達信一会員



拓く会第二回日税連

会務懇談会開催

九月二十五日正午から大崎のニューオータニイン東京において、日税連会務懇談会を開催した。

関東信越税理士会の清水会長をお招きし関信会の取組みなど会務の全般についてお話を伺った。

本会からは山川会長以下十八名の出席があり、日税連会務について協議した。次回の開催は、十二月十八日を予定している。

(日税連対策部会長 鎌田俊夫)



説明する鎌田俊夫日税連対策部会長



(上) 総会で挨拶される金子秀夫会長 (左下) 役員席からの総会風景 (右下) 議案説明する高村総務部長



第8回拓く会ゴルフコンペ開催される

去る11月20日 八王子カントリークラブにおいて第8回拓く会ゴルフコンペが開催された。当日は晴天に恵まれたものの、八王子カントリー独特の砲台グリー

ンなどに阻まれ、スコアを崩す会員が続出した。優勝は葛飾支部の佐田政人会員。参加は52名であった。

成績表 平成20年11月20日 八王子カントリークラブに於いて

順位	氏名	OUT	IN	グロス	HC	ネット	15	石田昭訓	57	50	107	31.2	75.8
優勝	佐田政人	49	41	90	19.2	70.8	20	高橋省二	50	41	91	14.4	76.6
2	横前 稔	53	50	103	31.2	71.8	25	吉野俊郎	47	46	93	15.6	77.4
3	須藤恭良	45	48	93	20.4	72.6	30	内山良子	61	56	117	38.4	78.6
4	西川康雄	50	42	92	19.2	72.8	35	原田愿次	50	52	102	21.6	80.4
5	糸野良二	45	50	95	21.6	73.4	40	森 伸博	48	45	93	12	81
6	五味田敏夫	54	52	106	32.4	73.6	45	飯盛俊昌	51	52	103	19.2	83.8
7	田口絢子	52	51	103	28.8	74.2	50	中川常彦	69	53	122	30	92
8	安藤隆司	48	47	95	20.4	74.6	BB	井沢 清	60	65	125	37.2	87.8
9	上田俊明	45	42	87	12	75.0	※	ベスグロ 上田俊明	グロス 87				
10	河並祐幸	45	46	91	15.6	75.4							

(参加 52 名)

支援対策会議開かれる

会長・副会長候補に九名が推薦される

推薦基準を各候補に提示

いよいよ来年春の東京税理士会役員選挙が近づいて来た。拓く会では、会則に則り、さる八月二十七日に支援対策会議を立ち上げた。同会議は、四八支部から委員を選出してもらい、議長には関本和幸会員を互選している。

「推薦基準」を全会一致で決定

参加型会務を実践している拓く会では次期役員に相応しい候補者の推薦基準を設けて、この基準に合致する方を自由に候補者として推薦してほしいと広く呼びかけを行った。推薦基準は政策を中心としたものと、個人のパーソナリティを中心としたものとの二種から成っている。成文は常任委員会で作成し、支援対策会議の全体会議で決定されたものである。本文を下記に掲載したのでご一読いただきたい。

会長候補三名・副会長候補六名

会員の自由な意見を尊重する観点から、この段階では本人意思の確認なしにそれぞれの支部で選挙運動の支援が可能であり、推薦基準に合致すると思われる方を推薦して頂いた。



現時点では会長候補三名となっているが、本年中には一名に絞り、他の二名が副会長候補に回る公算が大きい。なお、副会長候補は前回同様、五名の推薦を予定しているが、候補者が多数であるため審議は慎重かつ諸般の状況を見極めて支援対策会議で決定されることになっている。

推薦基準

I. 政策基準

『時代を拓く税理士の会』（以下『拓く会』という。）が推薦する東京会会長・副会長候補者の政策基準は次の通りである。次期候補者はこの政策基準の本意とするところを理解し、これを推進できる人材であること。

- 一. 会員の声を反映させる東京税理士会をめざし、参加型会務をすすめます
- 二. 国民のための税理士制度を目指し、更なる税理士法改正に取り組みます
- 三. 会員研修及び会員相談業務等の整備を図り、会員サービスを充実します
- 四. 租税制度及び税務行政の改善のために研究、提言及び建議を行います
- 五. 中小企業の活性化のために税制、金融及び経営等の改善策を促進します
- 六. 小規模納税者及び給与・年金受給者等のため税務支援業務を促進します
- 七. 東京税理士会の総力を結集し、日税連の民主的な会務運営を確立します

II. 本人基準

東京会会長・副会長候補者は左記に掲げる基準の内、より多くの条件を備えている者とする。

- 一. 『拓く会』の会員であり、『拓く会』の活動を理解し積極的に参加するもの
- 二. 税理士会若しくはその関連団体の主要な役職にあるもの、又はあったもの
- 三. 所属支部で多くの支持が得られ、選挙活動に幅広い動員力がのぞめるもの
- 四. 所属支部やブロック等を超えて、より多くの強力な支持者が得られるもの
- 五. 会長候補者・副会長候補者ともに、相互に連携し選挙活動を行なえるもの
- 六. 税理士事務所経営にある程度の安定性が見られ会務執行に支障のないもの
- 七. 税理士としての誇りと使命感を持ち、説得力のある論議が展開できるもの
- 八. 行動力と気力を兼ね備え、新しい時代の流れに適切柔軟に対処できるもの
- 九. 税理士会の関連団体の意義を理解し、より多く加入し又は参画できるもの
- 十. 専業・兼業、資格取得の経緯を超えて多くの会員から支持を得られるもの

書面添付制度の 実務研修会を開催



講師 伊藤佳江先生



平成二十年九月二十七日、拓く会の第四回定期総会に先立ち東京税理士会館において、「書面添付制度の活用によって変わること」税理士の権利として位置付けられたこの制度をどのように生かしていくか、書面添付をポジティブに受け止め活用していくためのヒント」と題して研修会を開催した。

講師には、東京税理士会の業務対策部長である伊藤佳江先生をお迎えし、日税連と国税庁との書面添付制度の普及・定着に関する協議会がこの六月合意したポイントを中心に、講演を頂き百余名の多くの会員が熱心に受講した。

研修内容の概要としては

I 書面添付制度の沿革

平成十三年改正で現行制度になった。

II 書面添付制度の様式の一部改正の経過とその影響

・ 税務署の收受印欄が設けられた。

・ 記載内容が良好な添付書面について、意見聴取後、調査省略を行った場合は調査省略通知を行う。

III 税理士業務の中でどうとらえるか

・ 税理士の専門家責任と検証範囲の明確化。

IV 事例を使って具体的にやってみよう

・ 記載記入事例ハンドブック（平成十七年四月発行）を使う。

・ 添付書面の様式「3 計算し、整理した主な事項」の欄はなるべく具体的に書く。

伊藤先生は、書面添付制度は、税理士法に基づく書類であり、税理士でなければ

提出できない意見表明の場であるから提出するか否かは、税理士の任意であるが、是非積極的に取り組んで頂きたいとのことであった。

拓く会は、平成二十年に出席者が百名を超える東京会の認定研修会を三回（二月二日、六月二日、今回）実施したことにより、認定団体の要件を満たすことになりました。

今後とも充実した研修会を開催いたします。

（業務対策部 本橋喜久雄）

講演される伊藤佳江先生



研修会風景



日税連の

「税理士法改正要望項目」

豊島支部 木下盛弘

日税連制度部では次の税理士法改正へ向けた要望項目の取りまとめを精力的に行っている。

平成十三年の改正以降、あるべき税理士制度の検討を経て、いよいよ改正要望項目を取りまとめ、本年三月二十一日に日税連制度部長名で池田会長宛に「タタキ台」の具申を行った。

六月四日、池田会長から再検討を行うよう制度部長宛に諮問がなされ、来年三月三十一日期限で答申が求められた。

タタキ台は制度部委員のみによって作成されたが、答申に向けての検討作業において各会制度部から意見聴取が行われた。東京会でも会報を通じて会員各位に意見の提出を求め、十四件の貴重な意見をいただいた。それらも含め東京会制度部で慎重審議を行い日税連宛十月一日に意見提出を行った。

日税連制度部では全十五会から提出された意見も含め、中間報告案の作成を進めた。十月六日には規制改革特別委員会との合同会議で更に検討が加えられ、十月二十日ようやく中間報告案の方向性を取りまとめられたが、慎重を期すため更に各委員の意見聴取が十一月五日期限で行われた。

東京会制度部では、先に提出した意見が十分汲み取られていない事項についてはきちんと意見表明をすべきであるとの観点から、いくつかの事項についての主張を意見として取りまとめ、日税連制度部宛に提出をした。各委員からの意見を受けて最終的な中間報告が完成される。この中間報告は、十一月十九日の日税連正副会長会で議案として取り上げられる予定であるので、十二月の東京会支部長会・理事会において日税連会務報告の中で内容が一般に公表されることになる。この中間報告が正副会長会で検討された結果を踏まえ、日税連制度部では少なくとも最終答申を来年二月上旬に完成し、池田会長宛に提出することになっている。

入会案内

『拓く会』では新たな会員を募集しています。またご紹介もお願いします。

- ・『拓く会』の年会費は3,000円です。
 - ・郵便振替口座 口座番号 00130-0-648373
口座名義 時代を拓く税理士の会
 - ・普通預金口座 三井住友銀行 新橋支店
口座番号 2008373
- 名義上記と同じ(※ 税理士登録番号記入のこと)
(下記の入会申込書を御記入のうえ)
Fax 03-3572-1445にて高村総務部長宛までお願いします)

拓く会ホームページ <http://hirakukai.com>

『拓く会』の動き

- 平成二十年八月一九日
『第一回常任役員会開催』
東京税理士会館に於いて
・ 支援対策会議の件
・ 定期総会議案の件
- 平成二十年八月二七日
『第一回支援対策会議開催』
東京税理士会館に於いて
・ 東京会会長・副会長候補者推薦基準の件
・ 各支部へ候補者推薦依頼について
- 平成二十年九月二二日
『第二回常任役員会開催』
- 平成二十年九月二七日
『第四回定期総会議開催』
東京税理士会館に於いて
・ 定期総会議関係の件
・ 日税連理事部会の件
- 平成二十年十月八日
『第三回常任役員会開催』
東京税理士会館に於いて
・ 支援対策会議の件
・ 定期総会議報告
- 平成二十年十月二七日
『第二回支援対策会議開催』
東京税理士会館に於いて
・ 候補者選考について
- 平成二十年十一月一七日
『第四回常任役員会開催』
東京税理士会館に於いて
・ 支援対策会議の件
・ 会員拡大の件
- 平成二十年十一月二七日
『第三回支援対策会議開催』
東京税理士会館に於いて
・ 候補者の意思確認の件
- 平成二十年十二月九日
『平成二十年度忘年懇親会』
東京税理士会館に於いて

「時代を拓く税理士の会」入会申込書

平成 20 年 月 日

事務所所在地 _____

支部名 _____

氏名 _____

電話 _____ (必須) FAX _____

E-mail _____

